


## ティーチング・ポートフォリオ兼教員プロフィール

	<p>食物栄養科 准教授</p> <p>青 木 慎 悟 （あおき しんご）</p> <p>AOKI Shingo</p>
所属	食物栄養科
学位	修士（食品栄養科学）（静岡県立大学）
資格・免許	<p>管理栄養士（2009年6月）</p> <p>3級ウェブデザイン技能士（2018年4月）</p> <p>2030SDGs 公認ファシリテーター（2025年2月）</p>
学歴・職歴	<p>&lt;学歴&gt;</p> <p>2009年 3月 静岡県立大学食品栄養科学部栄養学科 卒業 （学士（食品栄養科学））</p> <p>2011年 3月 静岡県立大学大学院生活健康科学研究科食品栄養科学専攻 修士課程 修了（修士（食品栄養科学））</p> <p>&lt;職歴&gt;</p> <p>2011年 3月 独立行政法人国立病院機構三重中央医療センター （2012年3月まで）</p> <p>2012年 4月 山梨学院短期大学食物栄養科 助教（2013年3月まで）</p> <p>2013年 4月 山梨学院短期大学食物栄養科 専任講師（2023年3月まで）</p> <p>2016年 4月 山梨県立大学看護学部 非常勤講師 （担当科目：臨床栄養学）（2016年9月まで）</p> <p>2021年 4月 山梨学院短期大学 地域連携研究センター長補佐 （2024年3月まで）</p> <p>2022年 4月 甲府看護専門学校看護第2学科 非常勤講師 （担当科目：治療論Ⅱ（栄養療法））（現在に至る）</p> <p>2023年 4月 山梨学院短期大学食物栄養科 准教授（現在に至る）</p> <p>2024年 4月 山梨学院短期大学 地域連携研究センター長（現在に至る）</p>
担当科目	<p>臨床栄養学総論 臨床栄養学各論 臨床栄養学実習 公衆衛生学各論 栄養生理学実験 給食運営実習Ⅲ 栄養士特講Ⅰ・Ⅱ 基礎演習 卒業演習 Ⅰ・Ⅱ 子どもの食と栄養</p>
専門分野	臨床栄養学
現在の研究テーマ	ヘルスリテラシーに着目した包括的な食支援
競争的資金等の 研究課題	－
所属学会	日本栄養士会（山梨県栄養士会） 日本栄養改善学会 日本病態栄養学会 日本食育学会
メッセージ	<p>学んだことの復習と実践を繰り返しながら、どんどんと力を付けていってください。スキんケアと同様に、日々の継続と積み重ねによって、数年～数十年後、その影響が大きな違いになって現れてくるでしょう。</p>

教育		
2024 年 4 月～2025 年 3 月		
教育方針		日々の学修と研究活動の支援を通じて、学びの楽しさと奥深さを伝えることで、卒業後も、知識のブラッシュアップと実践を繰り返しながら、問題解決に取り組むことのできる人材を養成する。
授業	授業の工夫	<p>&lt;臨床栄養学総論&gt;</p> <p>「栄養ケア・マネジメント」を実践的な取組の中で学修するための、アクティブ・ラーニング (AL) を行っている。具体的には、BDHQ (食習慣をアセスメントする食事調査法の一つ) を指導対象者に回答してもらい、その結果をふまえ、栄養ケアの流れを立案、プレゼンテーションの形で相互発表させる授業を実施している。</p> <p>&lt;臨床栄養学各論&gt;</p> <p>人間栄養学に対する科学的な視点を強化させるため、データベース『健康食品』の安全性・有効性情報」を用いた AL を行っている。具体的には、データベースを用いて興味のある成分の科学的な機能性 (ヒトを対象にどのような研究が行われているか) を調べさせ、プレゼンテーションの形で相互発表させる授業を実施している。</p> <p>&lt;栄養生理学実験&gt;</p> <p>一部実験において、実験計画を全て教員側が提示するのではなく、学生には実験材料を提示するにとどめ、班ごとに実験計画を考えさせ、その計画を元に実験を実施し、結果を発表させる回を設けている。さらに、研究的な視点も含めて、ルーブリックを用いたレポート指導法の検討を行っている。</p> <p>&lt;公衆衛生学各論&gt;</p> <p>AL の一つとして、ストレスチェックや食習慣等のデータを用いて、公衆衛生学的な視点から集団全体の特徴や課題を分析し、相互発表させる授業を実施している。</p> <p>&lt;子どもの食と栄養&gt;</p> <p>食と栄養、特に「食育」に関する理解を深めるため、複数の AL を取り入れている。具体的には、食事調査結果から、自身の食の特徴を検討させる課題や、「食育推進基本計画」の目標値を改善させるための食育活動計画を立案させ、相互発表させる授業を実施している。</p>
	授業改善のための取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業改善アンケートによる教授内容の見直しを継続的に行っている。</li> <li>・各種研修会に参加し、専門の栄養学的な部分だけでなく、ワークショップ形式による効果的な教育手法の学修にも努めた。</li> </ul>
	ゼミ活動 (卒業演習) (修了研究)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2024 年度は、2 つのグループに分かれ、小児糖尿病サマーキャンプ、慢性腎臓病 (CKD) をテーマに研究を行った。</li> <li>・得られたデータを分析する中で、学生らが基礎的な統計手法 (t 検定、カイ二乗検定、相関分析など) を習得できるように努めた。</li> </ul>
ゼミ	卒業レポート・ 修了研究テーマ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小児糖尿病サマーキャンプにおける食支援 一少人数体制の実践と食事調査結果の詳細ー (共同)</li> <li>・料理講習会を通じた継続的な食支援が CKD 患者の腎機能に与える影響ー新型コロナウイルス感染症による自粛期間を含む約 10 年間の長期的なデータ分析ー (共同)</li> </ul>

教育（つづき）	
2024 年 4 月～2025 年 3 月（つづき）	
課外活動	・ フォークソング拓郎 顧問
2024 年 3 月以前	
主な教育業績	<p>・ 指導学生が以下の学会にて、示説発表を行った。</p> <p>第 5 回 山梨県栄養学術研究会（2021 年 3 月）</p> <p>第 4 回 山梨県栄養学術研究会（2020 年 2 月）</p> <p>第 2 回 山梨県栄養学術研究会（2018 年 2 月）</p> <p>第 1 回 山梨県栄養学術研究会（2017 年 2 月）</p>

研究		
2024 年 4 月～2025 年 3 月		
タイトル（単著・共著）	年月日	発行所、発表雑誌、発表学会等
（その他：短報） 料理カードを用いた短期間の食事調査結果と習慣的な栄養素等摂取量との関連 （共同）	2025 年 3 月	山梨学院短期大学研究紀要 第 45 号
（その他：学会発表） 介護保険施設から医療機関に発行される栄養情報提供書の特徴分析 ―山梨県内の複数施設を対象とした横断調査より― （共同）	2025 年 3 月	第 9 回 山梨県栄養学術研究会
（その他：学会発表） 介護保険施設における管理栄養士の増員が利用者の栄養状態に与える影響 （共同）	2024 年 9 月	第 71 回 日本栄養改善学会学術総会
2024 年 3 月以前（主なもの）		
タイトル（単著・共著）	年月日	発行所、発表雑誌、発表学会等
（学術論文） <a href="#">小児 1 型糖尿病サマーキャンプにおける身体活動量調査</a> （単著）＜外部リンクあり＞	2018 年 3 月	山梨学院短期大学研究紀要 第 38 号
（その他：短報） <a href="#">保育士養成施設における食・栄養関連の教育が学生の「健康的な食生活リテラシー」に与える影響</a> （共著）＜外部リンクあり＞	2024 年 3 月	山梨学院短期大学研究紀要 第 44 号
（その他：短報） <a href="#">介護保険施設から医療機関に発行する栄養情報提供書の有用性</a> （共著）＜外部リンクあり＞	2023 年 3 月	山梨学院短期大学研究紀要 第 43 号
（その他：短報） <a href="#">サマーキャンプ中の 1 型糖尿病患者児の正確な血糖予測に関連する因子の検討</a> （単著）＜外部リンクあり＞	2020 年 3 月	山梨学院短期大学研究紀要 第 40 号

社会貢献
産官学連携、高大連携、研修会講師、学外委員会活動、学会活動、講演会、等
2024年4月～2025年3月
<ul style="list-style-type: none"> <li>・やまびこの会（山梨県における小児糖尿病サマーキャンプ運営スタッフの会）栄養スタッフ学生引率（2012年4月～現在に至る）</li> <li>・公益社団法人 山梨県栄養士会 ウェブサイト管理者（2018年4月～現在に至る）</li> <li>・特定非営利活動法人 でんぷんルルパ ウェブサイト管理者（2019年12月～現在に至る）</li> <li>・公益社団法人山梨県栄養士会 研究教育事業長、生涯教育委員会委員長および山梨県栄養士会理事（2022年6月～2024年6月）</li> <li>・公益社団法人 山梨県栄養士会 研修企画委員会委員（2024年6月～現在に至る）</li> <li>・特定非営利活動法人 でんぷんルルパ主催 腎臓病調理講習会 運営補助・学生指導（2024年5月、9月、2025年1月）</li> <li>・公益社団法人 山梨県栄養士会 機関誌「栄養やまなし」にウェブサイト管理者として寄稿（2024年5月、2025年1月）</li> <li>・やまびこの会小児糖尿病サマーキャンプ 運営補助・学生指導（2024年8月）</li> <li>・公益社団法人 山梨県栄養士会 生涯教育研修会 運営補助（2024年8月、2025年2月）</li> <li>・山梨学院高等学校 高大連携模擬授業 講師（2024年9月、2024年11月）</li> <li>・山梨学院短期大学 公開講座「たべるをはかる 自身の食習慣を知ろう！（地域医療プログラム①）」講師（2024年10月）</li> <li>・山梨学院短期大学 公開講座「血压にやさしい“ナトカリ”クッキング（地域医療プログラム②）」講師（2024年10月）</li> <li>・UTY テレビ山梨 スゴろくニュース「健康を考えた減塩レシピ ～山梨学院短大の学生が考案～（秋のトマト味噌ほうとう，ココナッツミルクカレー，鶏もも肉の南蛮和え定食）」取材対応・学生指導（2024年11月）</li> <li>・公益社団法人 山梨県栄養士会 医療事業部研修会・勉強会 運営補助（2024年11月、2025年2月）</li> <li>・公益社団法人 山梨県栄養士会 山梨県栄養学術研究会 運営補助（2025年3月）</li> <li>・公益社団法人 山梨県栄養士会 地域活動事業部研修会「様々な健康情報との付き合い方」講師（2025年3月）</li> </ul>
2024年3月以前（主なもの）
<ul style="list-style-type: none"> <li>・山梨県スポーツ協会 スポーツ医・科学委員会委員（2018年6月～2022年6月）</li> <li>・公益社団法人山梨県栄養士会 中北支部長および山梨県栄養士会理事（2016年6月～2017年6月）</li> </ul>
受賞 ※個人、所属団体
・農林水産省 第3回食育活動表彰「教育関係者・事業者部門消費安全局長賞」（2019年6月）